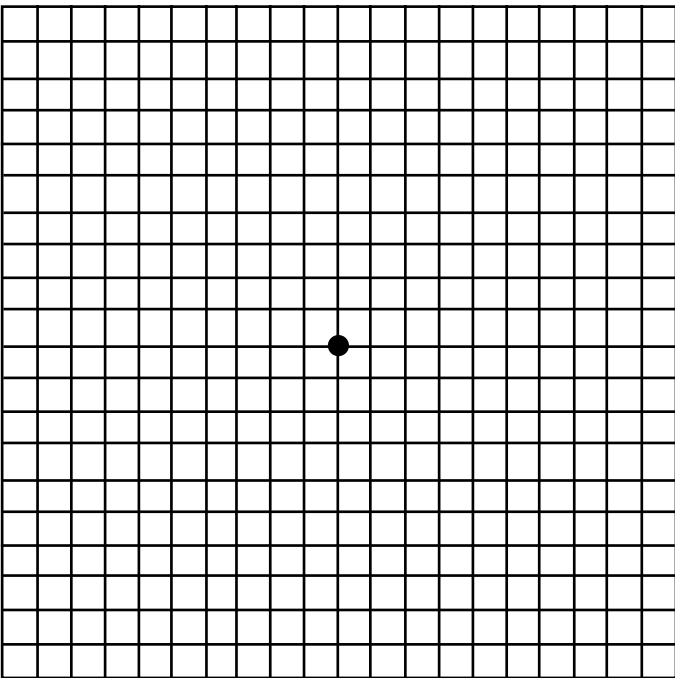


# あなたの眼 『見え方に変化』ありませんか？



正常な見え方

## ■ アムスラーチャート

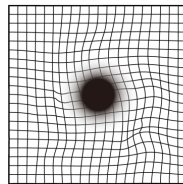
格子状の表を使って歪みなどがいないか自己チェックしてみましょう。普段は両眼で見ているので片眼ずつチェックするのがポイントです。

- ①片方の眼だけで見る（メガネはかけたままで）
- ②表の中央の黒い点を見つめる
- ③以下のような見え方ではありませんか？

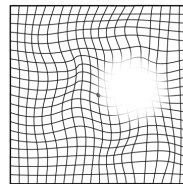
見え方に気になることがありましたら  
眼科医にご相談ください。



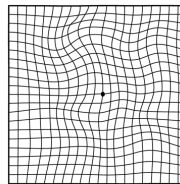
左右それぞれ  
チェックしましょう



中心が暗い



部分的に欠ける



中心が歪む

## 稲沢市民病院 | 眼科担当表



2024.7.10現在 | 最新の担当表は右の二次元コードの診療担当医師一覧表よりご覧いただけます。

| 時間区分 | 月曜日      | 火曜日      | 水曜日      | 木曜日      | 金曜日      |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 午前   | 山下<br>中村 | 中村<br>水上 | 中村<br>水上 | 中村<br>水上 | 山下<br>中村 |

月曜から金曜の午前中は眼科一般検査・診療が中心になります。

さらに、詳しい検査や処置が必要な時には、次のように検査・診療を行っています。

【月曜日～金曜日の午後】

白内障の術前検査、緑内障の精密検査、網膜血管病変の検査、レーザー手術、外来小手術、メガネ処方

【手術】

火曜日・水曜日の午後に行っています。

白内障手術を中心に、ほとんどの場合は入院にて行っています。

稲沢市民病院ニュース

発行日 令和6年7月11日

発行部数 600部

発行元 稲沢市民病院広報委員会

電話 0587-32-2111

Fax 0587-32-2151

E-mail hospital@city.inazawa.aichi.jp

広報誌バックナンバー



# 稲沢市民病院 / 病院 News.

inazawa municipal hospital news

vol. 86  
2024.July



稲沢市民病院の  
眼科を可視化する

「血圧や血糖値は気になって定期的に検査をしている。」

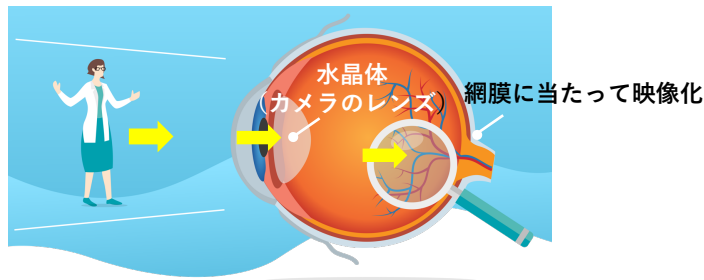
眼は、最近・・・見えづらくなったけど

老眼だから仕方ないわ。と思っていませんか？

眼は大切な体の一部です。今月号は、稲沢市民病院の『眼科』にまつわるお話です。

## 『ものが見える』しくみとは？

私たちは、毎日の生活で 80%以上の情報を視覚から得ています。眼の構造はカメラに似ていて『目で見ている映像』は、光が**カメラのレンズのような役割をする角膜、水晶体**を通り、**カメラのフィルムの役割をする網膜**に当たって映像となり、映像は視神経をって脳に伝達され、認知されます。



## 年齢を重ねると気になる『眼の病気』とは？

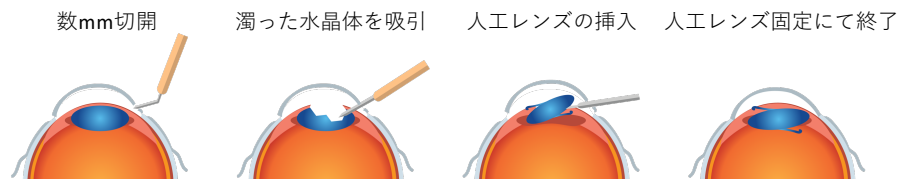
40代を過ぎた辺りから「スマートフォンや本の文字などが見づらい。」ということはないでしょうか？いわゆる『老眼』症状です。これは、水晶体の弾力が失われて硬くなり毛様体筋の動きが低下するからです。今回、『老眼』以外に加齢に伴って増える眼の病気をご紹介します。

はくないしょう

### 「白内障」

カメラのレンズの役割をする水晶体が濁る病気を白内障と呼びます。早い人では40代から、80代では大部分の人にみられます。その他の原因として、先天的、外傷、アトピー、薬剤、放射線、炎症によって起こるものなどが挙げられます。初期段階では自覚症状はほとんどありませんが、徐々にかすんだり、物が二重に見えたり、まぶしく見えるなどの症状が出現し、進行すれば視力が低下し、眼鏡でも矯正できなくなります。進行した白内障に対しては、手術のみが治療法となります。

#### 【白内障の手術について】



りよくないしょう

### 「緑内障」

緑内障とは、眼と脳をつなぐ視神経が障害されて、徐々に見える範囲が狭くなる病気です。原因は様々ですが、眼圧（眼内の水の圧）が関係しているといわれています。初期段階では症状がほとんどないため気づきにくく、進行すると失明のおそれがあります。40歳以上の20人に一人の割合で緑内障があると言われており、早期発見、早期治療が大切です。緑内障の治療は「点眼薬」「レーザー治療」「手術」などになります。

皆さんはじめまして。  
令和6年4月より着任しました  
眼科医の中村です。



眼科部長

なかむら あや  
中村 彩 医師

とうにょうびょうもうまくしょう

とうにょうびょうおうはんふしゅ

## 「糖尿病網膜症・糖尿病黄斑浮腫」

網膜というカメラのフィルムの役割をする膜には細かい血管があり、糖尿病ではこの血管が障害を受けて眼の酸素や栄養が不足します。そのため新しい血管が発生し、糖尿病網膜症となります。この病気は初期に症状がなく、ご本人が気づかないうちに進んでいきます。かなり進行すると突然大出血をおこしたり、網膜が引っ張られる網膜剥離などとなり視力障害をきたします。治療はレーザー治療、手術などです。また、糖尿病によりものを見る中心（黄斑）にむくみがでる糖尿病黄斑浮腫という病気もあり、必要時は眼に薬剤注射をします。糖尿病をお持ちの方は、自覚症状がなくても定期的な眼科受診をお勧めします。

かれいおうはんへんせい

## 「加齢黄斑変性」

加齢によって網膜の中心部分に障害が生じ、視力低下やものが暗く見えたり、ものがゆがんで見える等の症状が出る病気です。進行すると失明のおそれがあり、治療には「薬剤注射」「光線力学的療法」「レーザー網膜光凝固」があります。当院では名古屋大学医学部附属病院と連携して加齢黄斑変性の治療を行っています。

## 当院の治療について

当科では眼科の一般的な検査、診療、白内障手術等を行っています。白内障手術は1泊2日入院にて対応しています。**網膜静脈閉塞症、糖尿病黄斑浮腫、加齢黄斑変性症等に対する『硝子体注射』**も施行しています。また総合病院として他科と連携が必要な眼疾患につきましても診断、治療を行っています。

硝子体注射とは、抗VEGF薬と呼ばれる薬液を眼に注射する治療方法です。  
注射の前に目薬で麻酔（点眼麻酔）を行いますので、痛みはほとんどありません。



注射の前に目薬で麻酔（点眼麻酔）

抗VEGF薬と呼ばれる薬液を眼に注射

### ■ 視能訓練士について



当院では、二人の視能訓練士が在籍しています。視能訓練士は、乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層の検査を行い、医師の診断や治療に必要な検査のデータを提供し、眼科診療のサポートをしています。眼科一般検査の他に3歳児健診後のフォローや白内障手術の検査・眼鏡の検査なども行っています。

糖尿病教室では色々な職種の医療スタッフと日替わりで糖尿病に関するお話をしていますので、ぜひご参加ください！

#### ☆糖尿病教室☆

毎月第2週水曜日から5日間（土日・祝は除く）14時～15時  
稲沢市民病院 2階講堂 参加無料、事前申し込み不要